

### パートナーシップ調査2024

## 配偶者・パートナー関係 満足のカギは「個人の尊重」と「役割の柔軟性」 満足層の割合は、60代で最も高く、次いで20代が高い

株式会社リクルート（本社：東京都千代田区 代表取締役社長：北村 吉弘）が運営する『リクルートブライダル総研』は、このたび「パートナーシップ調査2024」を行いました。より良いパートナーシップを築くためのヒントにさせていただくべく、他の年代と比較して満足層の割合が高い60代の傾向を中心に抜粋してご報告いたします。※調査結果全体については下記リンクよりご覧ください。

[https://souken.zexy.net/research\\_news/partner.html](https://souken.zexy.net/research_news/partner.html)

#### 調査トピックス

- 既婚者全体で配偶者・パートナー関係の満足層の割合は60.3%。年代別に見ると、60代（63.5%）で最も高くなっており、次いで20代（62.8%）が高い。また、60代の71.9%が「配偶者・パートナーのことを信頼している」と答えており他の年代より高い。
- 満足層の8割前後が「配偶者・パートナーとの考え方が違うのは当たり前だ」「結婚しても個人の人生を尊重すべきである」と回答。60代では他の年代より割合が高い。
- 満足層および60代では「ある程度できていれば、家事は完璧でなくてもよい」「家事は自分と配偶者・パートナーで協力して行うものである」と回答した割合は7割以上。
- 配偶者・パートナーとの良い関係が「人生の幸福度」「心の余裕」「生活の満足度」にプラスに影響すると答えた割合は、いずれも全体で72%台で、60代では75%台。「仕事のパフォーマンス」「仕事のモチベーション」「仕事の生産性」が上がると答えた割合は全体で5割以上。年代別に見ると、20代・30代で高い。

※本リリース内の「20代」は、「18歳～29歳」を指します。

#### ブライダル総研 所長の解説



リクルート  
ブライダル総研所長  
落合 歩

夫婦やパートナー関係は、「二人で一つ」から「それぞれが自立し、尊重し合う関係」へ

夫婦やパートナー間での「対等な関係性」や「個人の尊重」は近年広がり、満足度と大きく関わっています。特に長年パートナーシップを構築しているであろう60代においても見られる特徴で、他の年代に比べ最も高くなっているのは興味深い点です。

家事や育児に対する柔軟な姿勢も同様で、パートナーとの関係を続けていく中で、多くの擦り合わせが行われてきた結果であり、関係性構築において重要な要素だと言えます。言い換えるとパートナー関係を良好にしていくには、相手を尊重しつつ、柔軟に役割を変え、自分たちらしいカタチを見つけていくことが大切で、それが早いタイミングからできればどの年代においても良い影響をもたらす可能性があると言えます。

また、パートナーとの良好な関係は、生活や仕事における多くの要素とも関係し、例えば、60代では「幸福度」「心の余裕」が、20代・30代では「仕事」や「子どもを持つ意向」への影響が相対的に高く、個人のウェルビーイングやさまざまな選択に大きな影響を与えるものになっています。

本件に関する  
お問い合わせ先

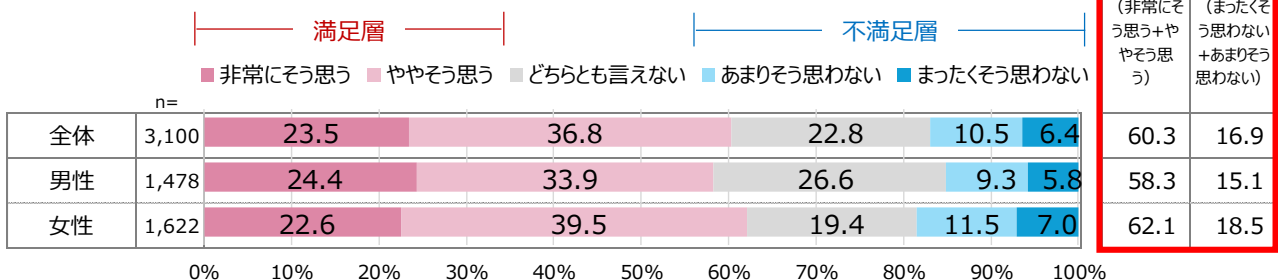
<https://www.recruit.co.jp/support/form/>

## 1. 配偶者・パートナー関係満足状況と配偶者・パートナーへの信頼感

- 既婚者全体で配偶者・パートナー関係の満足層は60.3%、どちらとも言えない層は22.8%、不満足層16.9%。男性の満足層は58.3%、女性では62.1%。
- 年代別に見ると、60代（63.5%）で最も高くなっており、次いで20代（62.8%）が高い。60代が高い要因としては、関係性が悪化した場合にパートナー関係を解消する層が一定層いることが考えられる一方、パートナー関係を継続している人においては長年のパートナーとの生活の中で信頼関係が構築されていることが推察される。また、子どもの独立や自身の定年や仕事のペースダウンなどにより、生活のゆとりが生まれたことも影響していると考えられる。
- 「配偶者・パートナーのことを信頼している」と答えた割合は、20代の61.8%から年代が上がるほど高くなる傾向があり（40代は除く）、60代の71.9%が最も高い。60代までパートナー関係を続けている層における信頼関係の高さがうかがえる。

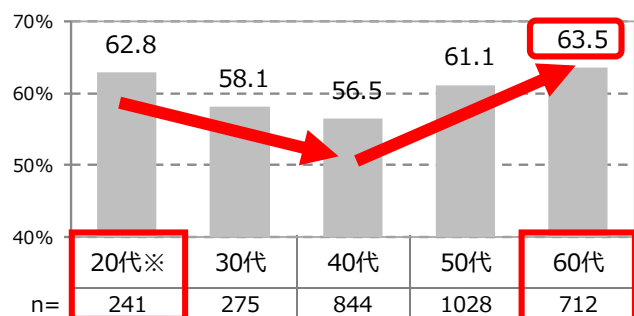
### ■ 配偶者・パートナー関係満足状況（全体／性別／単一回答）

「Q.配偶者・パートナーとの関係や配偶者・パートナーのことについて、お答えください。」  
 ※「配偶者・パートナーとの関係に満足している」の項目



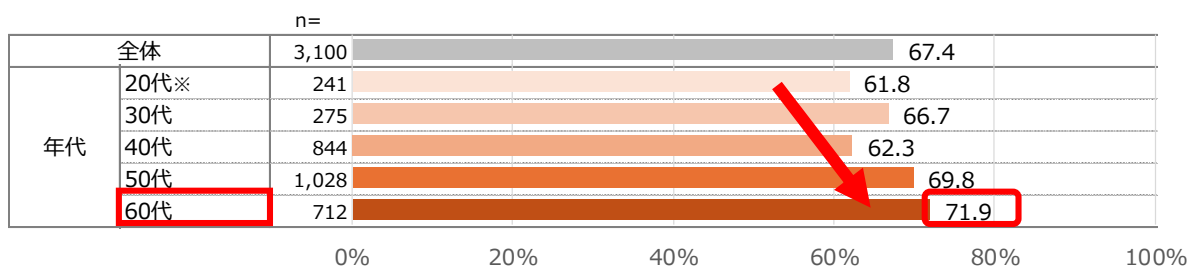
#### 【年代別】

「Q.配偶者・パートナーとの関係や配偶者・パートナーのことについて、お答えください。」  
 ※「配偶者・パートナーとの関係に満足している」について、満足・計（「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合）



### ■ 配偶者・パートナーへの信頼感（全体／年代別／単一回答）

「Q.配偶者・パートナーとの関係や配偶者・パートナーのことについて、お答えください。」  
 ※「配偶者・パートナーのことを信頼している」に「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



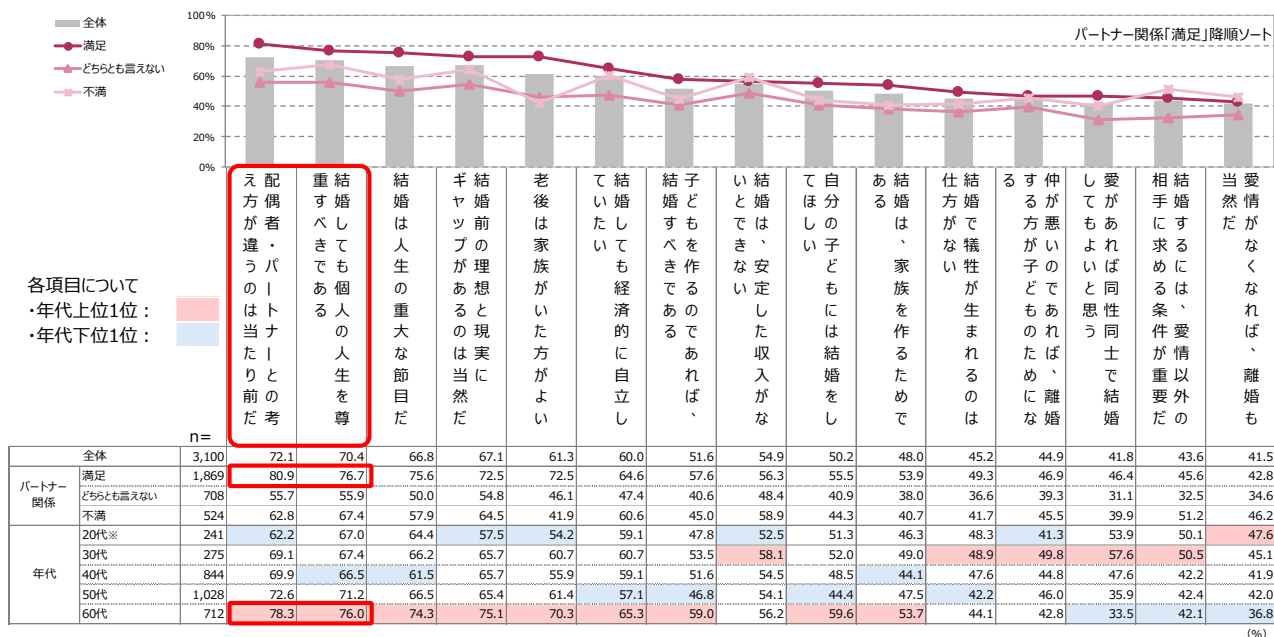
※本リリース内の「20代」は、「18歳～29歳」を指します。

## 2. 配偶者・パートナーとの関係性

- 満足層の8割前後が「配偶者・パートナーとの考え方が違うのは当たり前だ」「結婚しても個人の人生を尊重すべきである」と回答。また、60代は他の年代より割合が高く、この年代では異なる価値観を認め合う自立した関係性にある人が多いことが推察される。
- 満足層および60代は「ある程度できていれば、家事は完璧でなくてもよい」「家事は自分と配偶者・パートナーで協力して行うものである」と回答した割合はいずれも7割以上。形式的な平等や完璧さにこだわらず相手と協力して育児・家事を行うという考え方を大切にしている様子がうかがえる。

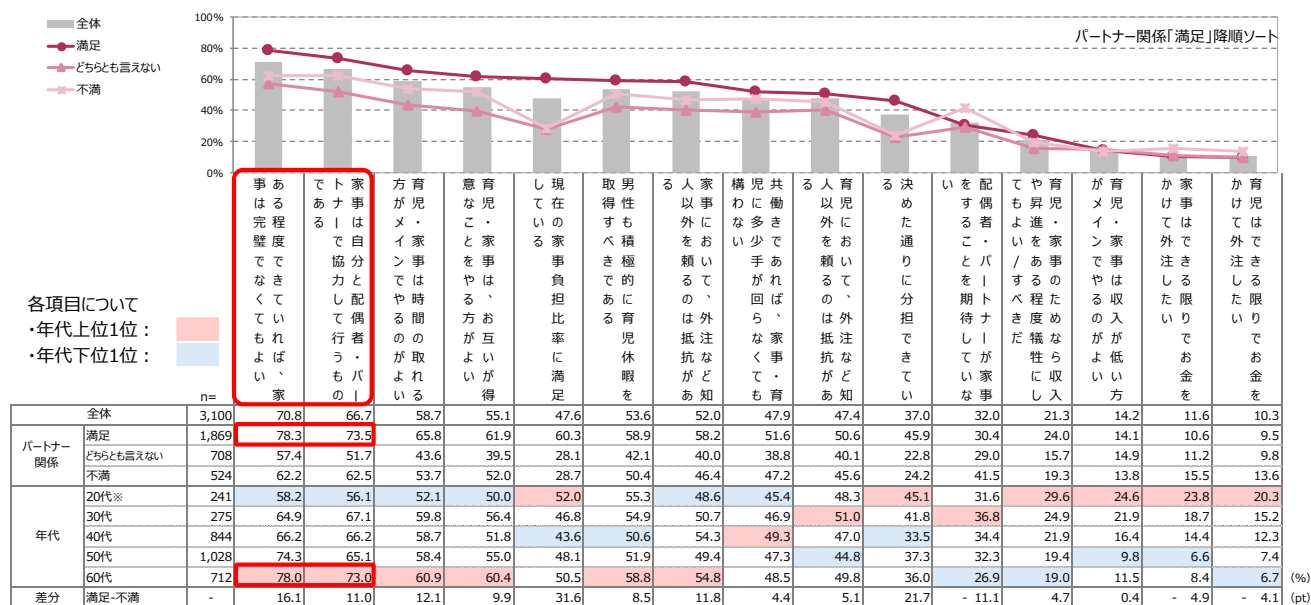
### ■ 配偶者・パートナー関係への意識（全体／パートナー関係満足状況別・年代別／単一回答 ※全体スコア上位15項目抜粋）

「Q.あなたは現在、下記のようなことについて、どのように考えていますか。」※各項目に、「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



### ■ 育児・家事観（全体／パートナー関係満足状況別・年代別／単一回答）

「Q.育児・家事に対する考え方としてあてはまるものをお選びください。」※各項目に、「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



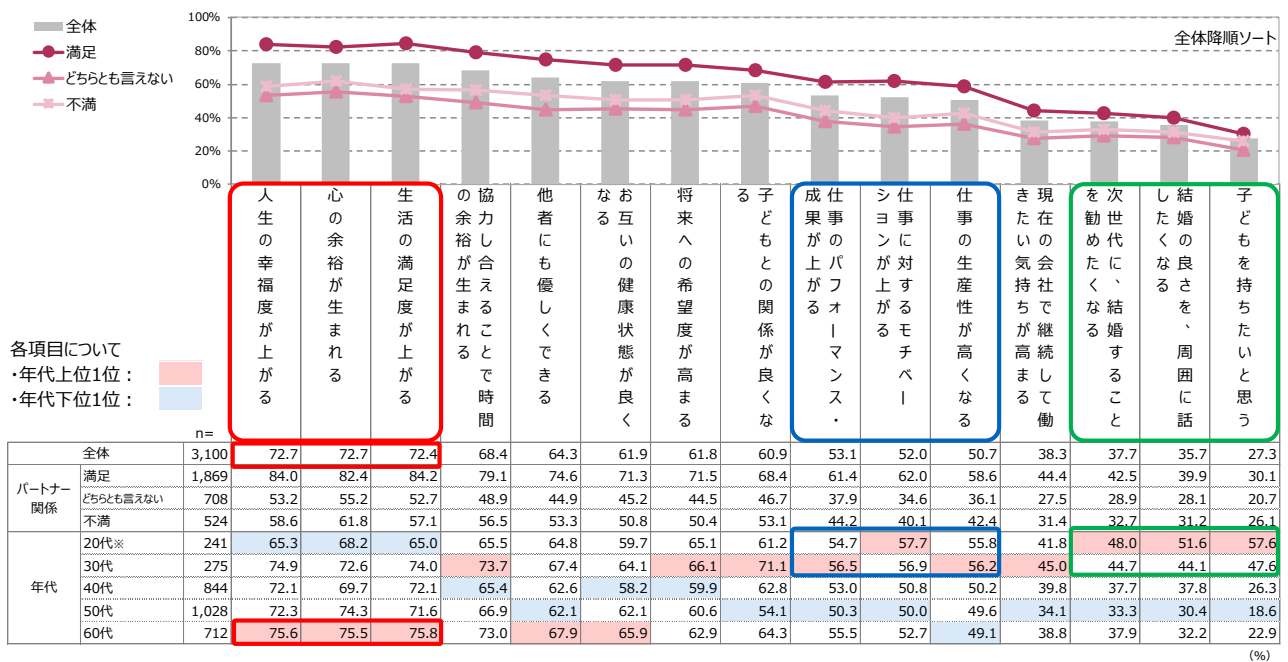
※本リリース内の「20代」は、「18歳～29歳」を指します。

### 3. 良好な配偶者・パートナー関係と人生影響

- 配偶者・パートナーとの良い関係が「人生の幸福度」「心の余裕」「生活の満足度」にプラスに影響すると答えた割合は、いずれも全体で72%台で、60代では75%台。
- 配偶者・パートナー関係が良好なことで、「仕事のパフォーマンス」「仕事のモチベーション」「仕事の生産性」が上がると答えた割合は全体で5割以上。特に、20代・30代では他の年代よりも高い傾向。
- 配偶者・パートナーとの良い関係があることによって、「子どもを持ちたいと思う」と答えた割合は20代で57.6%、30代で47.6%。「次世代に、結婚することを勧めたくなる」「結婚の良さを、周囲に話したくなる」は20代で5割前後、30代で4割強となっている。
- 配偶者・パートナーとの良好な関係性は、生活や仕事のさまざまな側面に影響を及ぼしていることが推察される。

#### ■ 配偶者・パートナーと良好な関係であることの影響範囲（全体／パートナー関係満足状況別・年代別／単一回答）

「Q. 配偶者・パートナーとの関係が良い状態であることによって、どんな影響があると思いますか。」  
 ※各項目に、「非常にそう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



※本リリース内の「20代」は、「18歳～29歳」を指します。

パートナーシップ調査2024

◆調査概要

【調査方法】 インターネットによるアンケート調査

【調査期間】 2024年2月16日（金）～2月22日（木）

【調査対象】 全国の「既婚者（法律婚・事実婚含む）」の18歳～69歳の男女

【回収サンプル数】 3,100件

※本調査では、性・年代別に定数にてサンプルを回収し、集計の際に実際の性・年代別既婚者の人口構成に合わせるために、サンプルに重み付けを行った（ウェイトバック集計）

◆回収サンプル構成

		既婚者（法律婚）									事実婚		合計
		初婚同士					再婚			初婚同士	初婚同士以外		
		18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	自分初婚・相手再婚	自分再婚・相手初婚	再婚同士				
東名阪	男性	103	103	103	103	103	52	52	52	52	52	775	
	女性	103	103	103	103	103	52	52	52	52	52	775	
東名阪以外	男性	103	103	103	103	103	52	52	52	52	52	775	
	女性	103	103	103	103	103	52	52	52	52	52	775	
合計		412	412	412	412	412	208	208	208	208	208	3,100	

※「東名阪」とは、首都圏（東京・神奈川・千葉・埼玉）、東海（愛知・岐阜・三重）、関西（大阪・兵庫・京都・奈良・滋賀・和歌山）を示します。



事前調査による性・年代別既婚者の人口構成に合わせてウェイトバック集計を実施

◆ウェイトバック補正後サンプル構成

		既婚者（法律婚）									事実婚		合計
		初婚同士					再婚			初婚同士	初婚同士以外		
		18-29歳	30-39歳	40-49歳	50-59歳	60-69歳	自分初婚・相手再婚	自分再婚・相手初婚	再婚同士				
東名阪	男性	39	32	197	250	134	30	40	23	59	22	827	
	女性	47	61	194	190	139	41	30	27	59	28	816	
東名阪以外	男性	29	37	133	165	145	27	29	20	45	21	651	
	女性	28	52	179	189	180	46	32	27	53	21	806	
合計		144	182	702	794	598	145	132	97	215	92	3,100	

※ウェイトバックによる補正を行っているため、補正後サンプル数は小数となります。

小数第一位を四捨五入して整数表記としています。そのため、サンプル数の合計と単純計算した数値は一致していない場合がございます。

◆備考

■本リリース内の「20代」は、「18歳～29歳」を指します。

■本リリース内で使用しているサンプル数はウェイトバック補正後の数値です。

■本リリース内で使用している集計軸において、「パートナー関係」と表記している軸は、項目「配偶者・パートナーとの関係に満足している」で「満足…非常にそう思う+ややそう思う」「どちらとも言えない」「不満…まったくそう思わない+あまりそう思わない」を指します。

リクルートグループについて

1960年の創業以来、リクルートグループは、就職・結婚・進学・住宅・自動車・旅行・飲食・美容などの領域において、一人ひとりのライフスタイルに応じたより最適な選択肢を提供してきました。現在、HRテクノロジー、マッチング&ソリューション、人材派遣の3事業を軸に、60を超える国・地域で事業を展開しています。リクルートグループは、新しい価値の創造を通じ、社会からの期待に応え、一人ひとりが輝く豊かな世界の実現に向けて、より多くの『まだ、ここにはない、出会い。』を提供していきます。

詳しくはこちらをご覧ください。

リクルートグループ：<https://recruit-holdings.com/ja/> リクルート：<https://www.recruit.co.jp/>